

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：化石哺乳類学入門 ILAS Seminar :Introduction to Fossil Mammalogy			担当者所属 職名・氏名	総合博物館 教授 高井 正成 ヒト行動進化研究所 特定助教 富谷 進		
群	少人数群	単位数	2単位	時間数	30時間	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2026・ 前期集中	受講定員 (1回生定員)	5(5)人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	集中 8月17日から19 日	教室	総合博物館南館 3階S305(本部 構内)			使用言語	日本語
キーワード	化石 / 哺乳類 / 骨学 / レプリカ作成 / 3次元計測						
<b>【授業の概要・目的】</b>							
<p>約2億年前から始まる哺乳類の進化に関して、化石記録に基づいた古生物学的観点からの研究方法について学ぶ。初期の哺乳類の化石のほとんどは、数mm程度の大きさの歯が並んだ顎の破片でしかないが、新生代以降の進化の過程で150tに及ぶクジラなどの巨大な哺乳類が出現している。本講義では、こういった哺乳類の進化史について、現生種の骨格標本を並べ、歯や骨の化石の複製模型を自分で作成することにより、様々な哺乳類がどのように進化してきたかを理解する。また、複製模型を自らの手で作成し、それを3次元スキャナーで撮像・計測することで、形態学の楽しさを実感してもらいたい。</p>							
<b>【到達目標】</b>							
<p>博物館に展示してある模型がどのように作成されているのかを、実際に模型を作成することにより理解できるようになる。また作成した模型の形や大きさを計測・解析する手法を修得する。</p>							
<b>【授業計画と内容】</b>							
総合博物館内で、3日間の集中講義形式で行う。							
<p>1日目：午前中は、哺乳類の進化史に関して、大まかな講義を行う。特に化石として残りやすい歯と四肢骨の形態的な進化に関して、骨格標本を元に解説する。午後は、現生のシカの骨格標本を組立ながら、哺乳類の骨格について学習する。</p>							
<p>2日目：午前中は、骨や歯のシリコンモールド（雌型模型）とレジンキャスト（雄型模型）を作成する。</p>							
<p>3日目：前日に作成したキャストなどを、3Dスキャナーでスキャンして3次元データを取得し、更に3Dプリンターを用いてプリントアウトする。</p>							
<b>【履修要件】</b>							
特になし							
<b>【成績評価の方法・観点】</b>							
成績評価は実習終了後に提出してもらった簡単なレポートを基に行う。							
----- ILASセミナー：化石哺乳類学入門(2)へ続く -----							

ILASセミナー : 化石哺乳類学入門(2)

**[教科書]**

高井正成・中務真人 『化石が語る：サルの進化・ヒトの誕生』（丸善出版、2022年）ISBN:978-4-621-30727-4

**[参考書等]**

（参考書）

高井正成（共著） 『シリーズ地球生命史第6巻：人類の進化』（共立出版、2024年）ISBN:978-4-320-04695-5

**[授業外学修（予習・復習）等]**

基本的に骨格標本や複製模型を用いた実習形式なので予習などは必要ないが、指定している教科書を前もって読んでおくこと実習の意味が理解しやすいだろう。

**[その他（オフィスアワー等）]**

集中講義の時期は8/17-19を予定している。また、講義の日程と内容の説明のために7月中に事前授業を1回行う予定である。

本講義は模型作成実習がメインであるため、人数は5人に制限している。なお、実習内容は危険なものではないが、念のため学生教育研究災害傷害保険に加入しておくこと。

**[主要授業科目（学部・学科名）]**